

ホスピタルストリート

\No.03/
Hospital Street 2022

香取おみがわ医療センターの 病院ボランティアの皆さんを紹介いたします。



(写真：リハビリ庭園に於いて)

利用者が気持ちよく受診していただけるようにお手伝いする 病院ボランティア代表 本田 弘

『病院利用者が気持ちよく受診していただけるようにお手伝いする』をモットーに活動し、15年が経過しました。ボランティア会員は18名で平均年齢も78歳となりましたが、ボランティア活動に励むことが元気の源となっており、心と体の健康維持に役立っていると思っています。主な活動は、①院内のご案内、②再来機や精算機の操作、③車イスへの移乗・移動のお手伝い、④車イスの点検整備、⑤リハビリ庭園の維持管理などです。携わりたい仕事を選んで都合の良い日程で活動しています。会員を募集していますのでぜひご応募ください。

(連絡先：直接ボランティアへ、または、☎0478-83-9210 本田 弘)

香取おみがわ医療センターは14の診療科を標榜し、南側と北側のホスピタルストリートに各診療科を集約しています。今回は、小児科、形成外科、歯科にスポットを当てて紹介いたします。

外来診療の紹介 利用者の皆

小児科

一般診療から専門診療まで幅広く対応

小児科では千葉大学医学部附属病院の医師による外来診療を、月曜日～金曜日までの午前中に行っており、新型コロナウイルス感染症等の発熱診療も、電話相談をいただいた上で行っています。また、午後は予約制で定期予防接種と乳児検診を行っています。

外来では鼻水や咳などの風邪症状、胃腸炎症状、便秘症や発疹、学校検診の精査など、一般的な診療や相談を幅広く行っておりま

すが、アレルギー、神経、循環器などの専門医もあり、専門性の高い診療も行えますので、診療日を確認の上で受診をお願いします。また、病状によっては、近隣の基幹病院や千葉大学医学部附属病院などへ紹介させていただき、地域の病院や他の診療科とも連携しながら医療を提供しています。授乳室を用意していますので、ご利用希望の方は受付に申し出て

<小児科の診療内容>

一般診療		風邪症状、胃腸炎症状 便秘症、夜尿症 学校検診の精査（尿検査など）
専門診療	アレルギー・免疫	乳児湿疹、アトピー性皮膚炎、じんましん 食物アレルギー 気管支喘息、アレルギー性鼻炎・結膜炎
	内分泌	肥満、低身長、コレステロール値の異常
	神経	成長・発達の相談 頭痛、けいれん
	循環器	動悸、心雑音
	血液	貧血、血液疾患



アレルギーマーチの 予防・対策・治療を

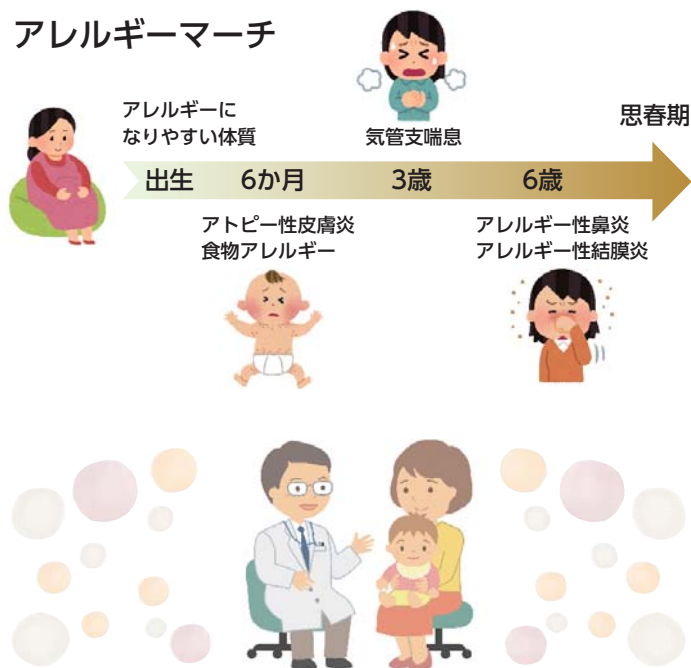
アレルギー・免疫外来

佐藤 裕範

小児科専門医、アレルギー専門医

当医療センターで外来を担当して3年目となります。アレルギー体質のお子さんは、成長と共に様々なアレルギーを引き起こす物質に曝露することで、「アレルギーマーチ」と言われる、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患を発症しやすいと言われています。それらの病気を進行させないためには、予防・対策・治療などを適切に行う必要があります。少しでも心配に思われることがあれば、気軽にご相談いただければと思います。

アレルギーマーチ



乳児湿疹・アトピー性皮膚炎

治療に用いるステロイドの塗り薬は、小さいお子さんには副作用などが怖くてなかなか使いにくいと思われがちですが、必要な部位に適切な量で使用していただければ安全に治療することができます。薬の必要性や塗り方などを丁寧に説明して不安を解消できるようにしています。

食物アレルギー

問診や検査からアレルギーの重症度を評価して、緊急時の対応法について説明しています。近年では摂取する安全な量が分かれば、少量、または加工品などを自宅でも摂取しながら慣らしていくこともできるとされています。アナフィラキシーなどのリスクが高い方には、エピペンの処方や近隣の専門病院へ紹介をさせていただいています。

気管支喘息・アレルギー性鼻炎

気管支喘息では、診察や定期的な呼吸機能検査により、患者さんに合わせて内服薬や吸入薬の調整を行っています。アレルギー性鼻炎は花粉症の治療・対策に加えて、5歳以上であれば舌下免疫療法などを開始することも可能ですのでお声がけください。

形成外科

形成外科はどんな時に受診する？



医師

木内 智喜

形成外科専門医

「形成」とは「形づくる」という意味で、形成外科では失われた機能や外観を修復する治療を主に行っています。当医療センターでは、皮膚のできもの、切り傷、やけど、巻き爪、床ずれ、まぶたの下がり（眼瞼下垂）、逆さまつげ、生まれつきのあざなどの患者さんが多く来られます。当科の診療は毎週木曜日ですので、入院治療や詳しい検査が必要な方、レーザー治療が必要な方などは、形成外科の常勤医師のいる病院へ紹介させていただいております。形成外科は命に関わる疾患を扱うことは少ないですが、患者さんの生活の質（Quality of Life）を向上させることを目指して診療しております。上記疾患などでお困りでしたら、ぜひお気軽に形成外科外来を受診してください。

歯科

患者さんと一緒に考える歯科診療



医長

田代 圭祐

当科は歯科医師1名、歯科衛生士3名で、患者さんの「安心」、「納得」、「安全」を常に心がけながら、口腔管理（治療・予防）を行っております。

まずは患者さんのお話を伺い、患者さんと一緒に考えて治療方針を決定するという当たり前のプロセスを、丁寧に、そして大切にしながら日々の診療を行っております。決定した治療方針で、患者さんに無理がないスケジュールを立てて進めていくことで、「安全」を徹底できると考えております。

むし歯や歯周病は様々な全身疾患と関連しており、また、これらによって多くの歯を失った場合には食生活にも支障をきたして十分な栄養が摂れなくなります。口腔機能を維持することは全身の健康維持につながりますので、内科、外科、整形外科などの医科診療と併せて口腔管理が必要です。



歯科スタッフ

外来看護科

看護職が治療と生活の支援を一体的に行う



看護師長

渡辺 智紀

外来は病院の玄関とされています。最初に患者さんを受け入れる場所であり、病院の医療や看護の質を印象付ける大切な場所となります。当医療センターの外来は1日に約400人の患者さんが受診されています。外来の患者さんは療養者であると同時に生活者としての側面が大きく、治療と生活の支援を一体的に行うことができる看護師や看護補助員の介入がますます重要になってきていると感じています。地域包括ケアシステムの推進により入院時の在院日数の短縮化が求められています。今まで入院で行われていた治療や検査も外来に移行しており、入院医療と在宅医療の間に位置する外来が担う役割は多様化し、そして高度化しています。外来看護科は患者さんの視点に立ち、変化する医療制度の中でも、安全で安心な医療と看護の提供を今後も目指していきます。



外来看護科 看護師



外来看護科 看護補助員

医療を予防の視点で捉え直す「予防医療」

近年では病気になってから治療するのではなく、病気になるのを予防する「予防医療」の需要が高まっています。生活習慣を改善することで健康を目指す1次予防が最も大切とされ、これに加えて2次予防の検診を行い、一人ひとりが自分の健康を気遣うことが大切です。

管理栄養士のささやき～大事な主食「お米」は太る？～

3階の臨床栄養科からは、初夏の風が水田の上を吹き渡る様子を見ることができ、夏の終わりには、稲穂が色づく変化や収穫の様子も感じとれます。



臨床栄養科
高安 和美
管理栄養士

日本では、昔から大切に育てたお米を大事に食べてきましたが、炭水化物抜きダイエットが話題になり、お米を避けている方はいませんか？ もちろん、炭水化物ばかり食べると血糖値が上がりやすく、膵臓から分泌されるインスリンの影響で脂肪が増えてしまいます。だからと言って、炭水化物を極端に減らした食事を続けると、疲れを感じやすくなり、筋肉減少につながります。炭水化物は、脳や体を動かす大事なエネルギー源です。

お米を食べて太ってしまうと感じたら…。食べる量や時間、おかずの内容、料理の組み合わせ、間食の食べ方を見直しましょう。お米に限らず、パンや麺なども「食べない」ではなく、「どう食べるか」が大事なポイントです。

新着情報

◆日帰り人間ドックを再開しました。

日帰り人間ドックを再開いたしました。予約制となりますので、電話、または1階相談カウンターにてお申し込みください。

◆第62回全国国保地域医療学会で、当医療センターの3名が研究発表を行いました。

学会は9月16日～17日に木更津市のかずさアカデミアホールで開催され、「コロナ・自然災害時代のニューノーマルを見据えたこれからの地域医療構想、地域包括医療・ケアの展望 ～地方再生こそ、日本の未来を担う～」をメインテーマに、講演、シンポジウムや研究発表などが盛況に行われました。



「MRI脊椎領域における Thin slice T2Cube (3DFSE) シーケンスの画質向上と撮像時間短縮を目指した基礎的検討」

診療放射線技師 赤坂 涼



「免荷式リフトPOPOによる術後早期からの起立訓練について～介助量と安全性に関する検討～」

理学療法士 菅谷 和広



「頸椎術後患者における手指機能の変化～術前・術後・リハビリ終了時の変化について～」

作業療法士 穴澤 光



地方独立行政法人
香取おみがわ医療センター

TEL 0478-82-3161 (代表) FAX 0478-83-3032
〒289-0332 千葉県香取市南原地新田438番地1

休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始
診療受付 平日8時から(予約が必要な診療もあります)
診療科により診療時間は異なりますので、詳しくはホームページ等でご確認ください。
<http://www.hospital.omigawa.chiba.jp/>

